



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 田中化学研究所
 コード番号 4080 URL <http://www.tanaka-chem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 副社長執行役員
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 横川 和史
 (氏名) 大畑 尚志
 TEL 0776-85-1801

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	15,487	39.8	763		787		913	
2019年3月期第3四半期	25,714	69.7	98	85.0	114	81.5	81	85.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	28.08	
2019年3月期第3四半期	3.15	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	26,033	13,750	52.8
2019年3月期	26,021	14,662	56.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 13,750百万円 2019年3月期 14,662百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	38.7	1,100		1,250		1,400		43.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	32,533,000 株	2019年3月期	32,533,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	1,086 株	2019年3月期	1,086 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	32,531,914 株	2019年3月期3Q	25,701,944 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における二次電池業界は、世界的な環境規制強化の流れから航空機、船舶にいたるまで電動化への対応や家庭用蓄電池の普及促進など用途拡大も含め、中長期的な視点では市場成長が続いております。一方、足もとの状況は長引く米中貿易戦争の中、世界最大の自動車市場である中国では新エネルギー車向けの補助金減額の影響からこれまでの市場成長の反動を受けて急減速し調整局面となっております。また、世界的には電池部材含め、調達を多様化するなど新たなサプライチェーン構築の動きが活発化しております。

このような市場環境の中、当社といたしましては当事業年度から翌事業年度にかけてリチウムイオン及びニッケル水素電池向け製品の増産体制の構築に向け着手しております。

足もとの業績面においては、主要顧客のリチウムイオン電池車載用途向け製品の仕様変更が完了し、販売が復調しつつあるものの、中国市場の急減速による調整局面の影響を受け、同用途向け製品の生産調整を余儀なくされております。また、同電池民生用途向け製品においても最終製品の需要減少の影響から販売数量が減少いたしました。さらには、販売価格においても顧客からの厳しい要求に対して対応を余儀なくされている事に加えて、コスト面においても中期的な増産に向けた設備投資や組織人員体制を強化していることから減価償却費及び労務費を中心に経費が増加し、採算面では非常に厳しい状況が続いております。

また、当社製品の主原料であるニッケル及びコバルトの国際相場において、前年第2四半期より徐々に下落をはじめ前期末にかけてニッケルは約70%、コバルトについては約30%の水準にまで下落し、当第3四半期にかけても大きな変動なく推移したため、売上高においては前年同四半期と比べ大きな減少要因となっております。

以上の結果、売上高15,487百万円(前年同四半期比39.8%減)、営業損失763百万円(前年同四半期は営業利益98百万円)、経常損失787百万円(前年同四半期は経常利益114百万円)、四半期純損失は913百万円(前年同四半期は四半期純利益81百万円)となりました。

主要な製品用途別の販売数量の概況は以下のとおりであります。なお、当社は二次電池事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておりません。

「リチウムイオン電池向け製品」

前年同四半期比で23.5%の減少となりました。用途別の増減は次のとおりであります。

- ・車載用途は、主要顧客向け製品において仕様変更の対応に時間を要したことから一時的に販売数量が減少したことに加えて中国市場の調整局面の影響を受けて生産調整を余儀なくされた結果、前年同四半期比で20.0%の減少となりました。
- ・民生用途は、最終製品の需要減少の影響から販売数量が減少し、前年同四半期比で27.1%の減少となりました。

「ニッケル水素電池向け製品」

前年同四半期比で6.7%の増加となりました。用途別の増減は次のとおりであります。

- ・車載用途は、HV車の好調を背景に主要顧客からの受注が増加基調で推移しており、前年同四半期比で10.8%の増加となりました。
- ・民生用途は、市場縮小から前年同四半期比で23.1%の減少となりました。

(ご参考)

(ニッケル国際相場：円換算)

(単位：円/kg)

	4～6月平均	7～9月平均	10～12月平均	1～3月平均
2020年3月期	1,360	1,691	1,686	—
2019年3月期	1,592	1,489	1,307	1,378

(コバルト国際相場：円換算)

(単位：円/kg)

	4～6月平均	7～9月平均	10～12月平均	1～3月平均
2020年3月期	4,028	3,729	4,186	—
2019年3月期	10,429	8,741	8,089	4,483

※ ニッケル LME(ロンドン金属取引所)月次平均×TTS月次平均

コバルト LMB(ロンドン発行メタルブリテン誌)月次平均×TTS月次平均

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末比12百万円増加し、26,033百万円となりました。

その主な要因は、現金及び預金が693百万円、有形固定資産が6,168百万円増加した一方、グループ預け金が6,500百万円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末比924百万円増加の12,283百万円となりました。

その主な要因は、短期借入金が1,700百万円、その他流動負債が894百万円増加した一方、仕入債務が1,513百万円減少したことによるものであります。

純資産は、四半期純損失を計上したこと等により前事業年度末比912百万円減少の13,750百万円となり、自己資本比率は52.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」において、2019年5月10日に公表いたしました2020年3月期の通期業績予想を修正いたしましたのでご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,035,756	2,728,878
受取手形及び売掛金	2,748,772	2,224,867
電子記録債権	129,763	153,755
商品及び製品	1,051,275	1,053,660
仕掛品	1,846,643	1,689,006
原材料及び貯蔵品	1,078,584	1,865,069
グループ預け金	6,500,000	—
その他	674,424	283,773
流動資産合計	16,065,219	9,999,011
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	2,884,394	3,271,987
建設仮勘定	3,293,393	8,707,211
その他（純額）	3,539,676	3,907,130
有形固定資産合計	9,717,464	15,886,328
無形固定資産	6,721	6,616
投資その他の資産		
その他	232,580	142,096
貸倒引当金	△451	△451
投資その他の資産合計	232,129	141,645
固定資産合計	9,956,315	16,034,590
資産合計	26,021,535	26,033,601
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,607,065	2,136,987
電子記録債務	957,079	914,109
短期借入金	—	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払金	2,135,505	2,773,429
未払法人税等	46,125	27,788
賞与引当金	139,993	63,690
設備関係電子記録債務	1,842,022	1,277,189
その他	197,617	1,092,605
流動負債合計	9,225,408	10,285,800
固定負債		
長期借入金	2,100,000	1,950,000
退職給付引当金	1,750	—
その他	31,952	47,590
固定負債合計	2,133,702	1,997,590
負債合計	11,359,111	12,283,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,155,228	9,155,228
資本剰余金	6,662,707	6,662,707
利益剰余金	△1,169,168	△2,082,541
自己株式	△2,077	△2,077
株主資本合計	14,646,689	13,733,317
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,734	16,893
評価・換算差額等合計	15,734	16,893
純資産合計	14,662,424	13,750,211
負債純資産合計	26,021,535	26,033,601

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
売上高	25,714,962	15,487,384
売上原価	24,320,800	14,929,305
売上総利益	1,394,161	558,078
販売費及び一般管理費	1,295,689	1,321,535
営業利益又は営業損失（△）	98,472	△763,457
営業外収益		
受取利息	1,176	1,566
受取配当金	1,968	1,972
為替差益	36,679	—
生命保険配当金	2,134	2,109
その他	10,390	2,669
営業外収益合計	52,349	8,317
営業外費用		
支払利息	15,851	12,719
為替差損	—	13,723
その他	20,775	5,582
営業外費用合計	36,627	32,025
経常利益又は経常損失（△）	114,193	△787,166
特別利益		
固定資産売却益	—	3,529
補助金収入	—	150,000
受取保険金	4,676	—
特別利益合計	4,676	153,529
特別損失		
固定資産除却損	6,201	892
固定資産圧縮損	3,766	144,673
特別損失合計	9,967	145,566
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	108,902	△779,202
法人税、住民税及び事業税	5,715	6,081
法人税等調整額	22,173	128,088
法人税等合計	27,888	134,170
四半期純利益又は四半期純損失（△）	81,014	△913,372

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。